

地方税・財政の課題

2011年6月6日

関西大学 林 宏昭

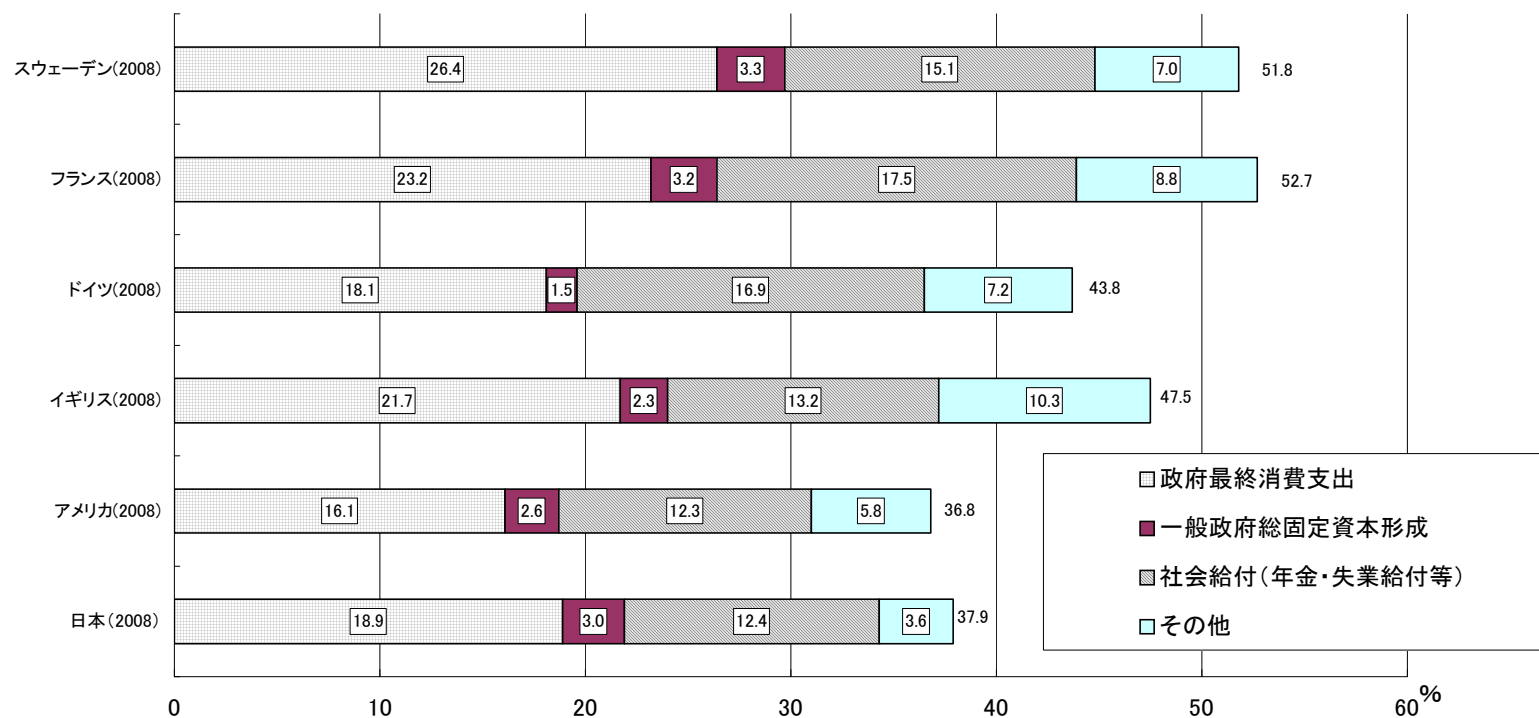
1. 地方分権の流れ

- 1990年代以降の高まり
- 三位一体改革
- ポスト三位一体改革
- 民主党、「地域主権」

2. 分権化と地方税・財政

- 分権化と政府の規模
 - 大きな政府と小さな政府
- 税収と支出の割合
 - 国と地方の逆転
- 地方税の割合と地方分権
- 地方税負担と受益の関係の明確化
 - ナショナルミニマムの明確化
- 地方税制の整備
 - 個人の負担と企業負担

図1 国民経済(GDP)に占める財政の役割



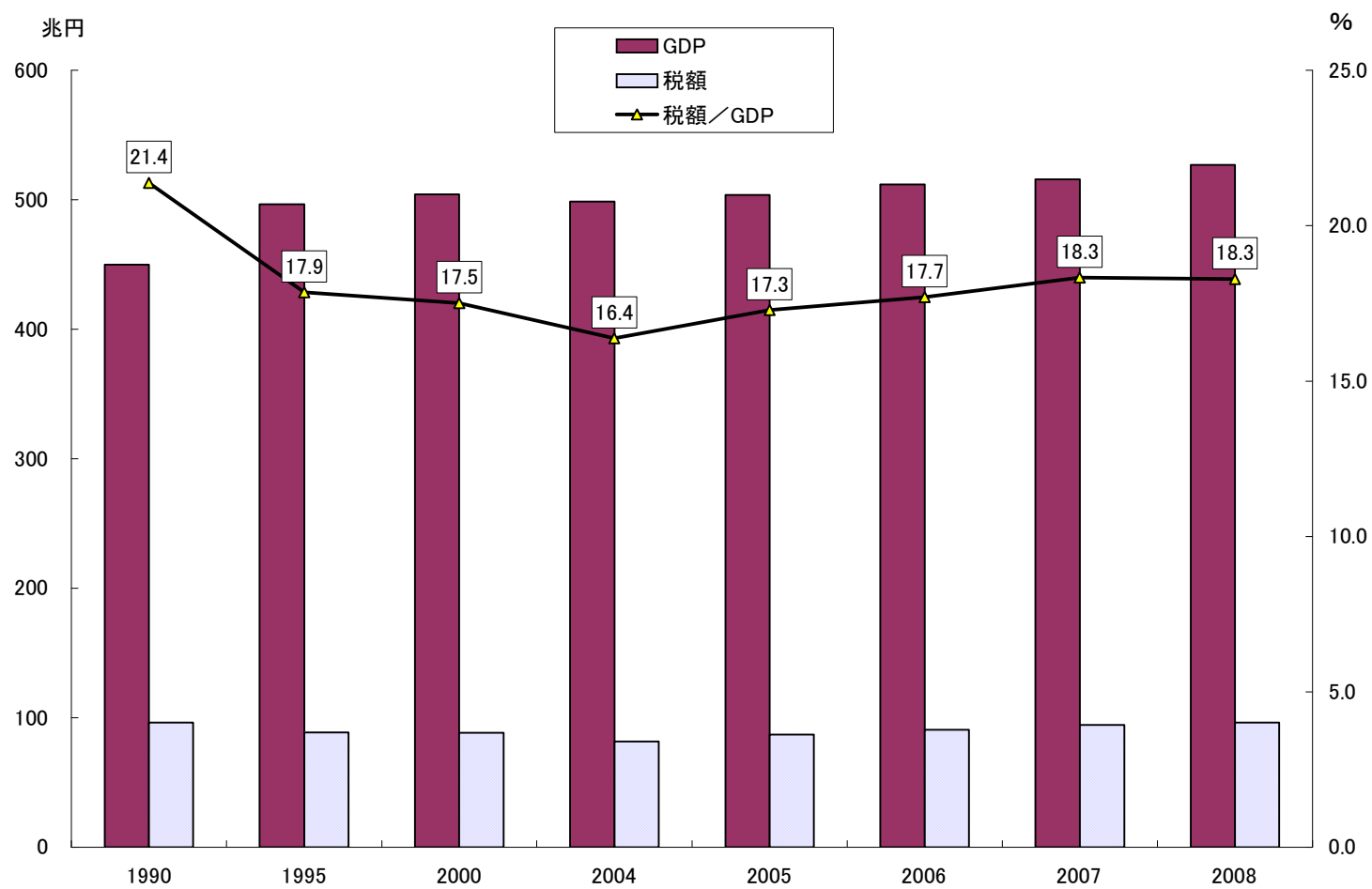
備考) 1. データは、諸外国は OECD/*Economic Outlook* 80, *National Accounts*、日本は『国民経済計算』による。

2. 社会給付は、現物給付を除く。

3. その他は、利払い費、土地購入費(純)、補助金の合計。

資料) 財務省ホームページ。

図2 税負担の対GDP比の推移



3. 社会保障と地方財政

- 国の役割と地方の役割
年金以外は何らかの地方の役割
- 現金給付と現物給付
「現金は国、現物は地方」の考え方
- セーフティ・ネットの整備、確立
生活保護制度と一律給付(給付付き税額控除)
- 税・社会保障番号の整備と活用

4. 災害への対応と地方財政

- 復興の体制

国 or 地域

- 復興の財源

国債、増税

誰が、いつ負担するか